

令和4年「日本遺産」認定内容の変更について

<市長コメント>

本市では、令和元年度に認定された涌谷町ほか2市2町の文化財群^{ぐん}でストーリーを構成する日本遺産「みちのく^{ゴールド}GOLD^{ろまん}浪漫」に、本市の「金華山^{もうで}詣」と「金華山^{どう}道」を構成文化財として追加認定頂くよう申請をしていたところではありますが、この度、文化庁より、その歴史的魅力や特色が認められ、追加認定される運びとなりました。

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で、不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としております。

日本遺産に認定されると本市の認知度がより一層高まるとともに今後、日本遺産を通じた様々な取組を行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては、地方創生に大いに資するものになると考えております。

今後、「みちのくGOLD浪漫」推進協議会会長である涌谷

町長から石巻市長への日本遺産登録認定証の交付式を、構成文化財に関係する場所を候補として、開催する予定としておりますので、詳細が決定次第、お知らせいたします。